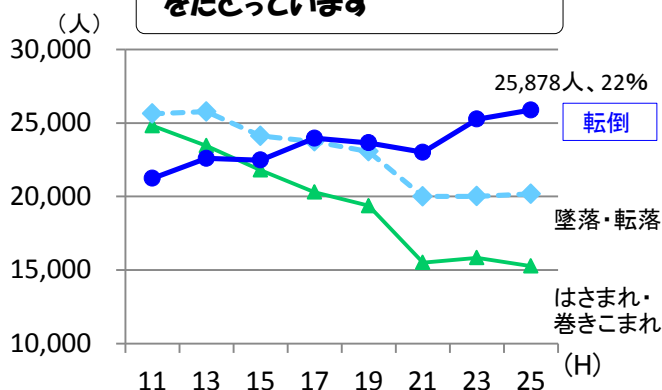


職場での転倒事故を減らしましょう！

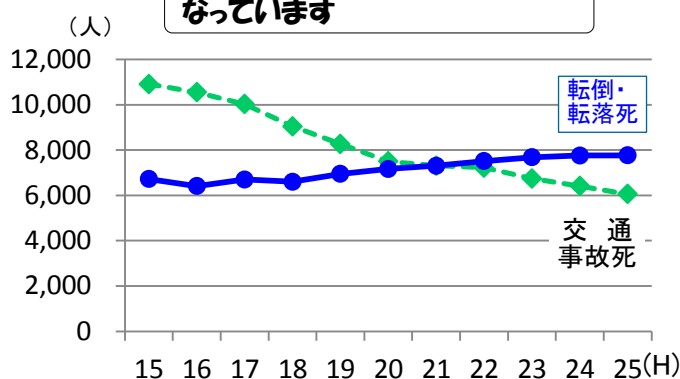
仕事中に転倒して4日以上仕事を休む方は、年間26,000人ほどで、労働災害の種類では最も多くなっています。特に高齢者が転倒した場合は重症化する割合が高く、日常生活での不慮の事故による死因の中でも、転倒・転落死は交通事故死を超えています。

転倒災害は年々増加の一端をたどっています



出典：厚生労働省 労働者死傷病報告「事故の型別死傷者数の推移」

日常生活でも転倒・転落事故は交通事故よりも死亡者が多くなっています



出典：厚生労働省 人口動態統計「死因別死亡者数の推移」

あなたの職場では、このような災害が起こっていませんか？

| 業種 | 災害の発生状況 |
|---------|---------------------------------------------------------|
| 自動車製造業 | <p>帰宅のため会社の事務所から駐車場へ向かう途中に、凍結した路面に足を滑らせ転倒し、尻もちをついた。</p> |
| ケガの程度 | |
| 休業1カ月 | |
| 対策のポイント | |

- 敷地内の通路を除雪する、融雪剤を散布する
- 雪道や凍結路面に適した滑りにくい靴を履く
- 足元が見えにくい箇所は照明を設置して注意を促す
- 身体を強打しないよう、クッション性のある帽子・衣類を着用する

| 業種 | 災害の発生状況 |
|---------|---------------------------------------------------------------|
| 飲食店 | <p>空の容器を抱えた状態で従業員通路の階段を降りていた時に、足元が見えず階段を踏み外してバランスを崩し転倒した。</p> |
| ケガの程度 | |
| 休業2カ月 | |
| 対策のポイント | |

- 運ぶ容器を小分けにするなど足元が見えるようにする
- 大きな荷物を運ぶときは台車を使用する
- 危険箇所には表示して注意を促す
- 階段の昇降はゆっくりを心がける

| 業種 | 災害の発生状況 |
|---------|--------------------------------------------------------------------|
| 小売業 | <p>厨房で揚げ物をバックに詰めるため、容器を取ろうと前方にかがんだところ、床に飛び散った油で滑ってバランスを崩し転倒した。</p> |
| ケガの程度 | |
| 休業10日間 | |
| 対策のポイント | |

- 作業の都度、床の油などは放置せず取り除く
- 滑りにくい靴底の履物を着用する

| 業種 | 災害の発生状況 |
|---------|-------------------------------------------------------------------|
| 小売業 | <p>バックヤードで商品の検品中に、レジのヘルプ連絡を受けて店内に向かう途中、台車に足を引っかけてバランスを崩し捻挫した。</p> |
| ケガの程度 | |
| 休業1カ月半 | |
| 対策のポイント | |

- 通路に物を置かない、整理・整頓をする
- 作業通路を定め、定期的に職場を巡視する
- 危険箇所には表示して注意を促す

冬期の転倒災害防止のポイント

積雪・凍結などの転倒災害のリスクが高くなる冬期間は、以下の対策が特に重要です。

◇天気予報に気を配る

寒波が予想される場合などには、労働者に周知し、早めの対策を実施しましょう。

◇時間に余裕をもって歩行、作業を行う

天候による交通機関の遅れが見込まれる場合は、時間に余裕をもって出勤するようにし、落ち着いて作業をするように心がけましょう。屋外では、小さな歩幅で靴の裏全体を付けて歩くようにしましょう。



<ヒートマットの設置例>

◇駐車場の除雪・融雪は万全に、出入口などに注意する

駐車場内、駐車場から職場までの通路を確保するため、除雪や融雪剤の散布を行いましょ。また、出入口では転倒防止用マットを敷き、夜間は照明設備を設けて明るさ（照度）を確保しましょう。

◇職場の危険マップの作成、適切な履物、歩行方法などの教育を行う

職場内の労働者が転倒の危険を感じた場所の情報を収集し、労働者への教育の機会に伝えるようにしましょう。また、作業に適した履物、雪道や凍った路面上での歩き方を教育しましょう。

転倒防止に役立つ靴と保護具を活用しましょう

雪道を安全に歩くには、靴選びが大事！

<靴選びの3つのポイント>

- ▶ 防滑性：靴底が滑りにくいこと
(やわらかいゴム底のものは、ゴムがすり減っていないかもしっかり確認しましょう)
 - ▶ 撥水性・防水性：水分が靴の中に入り込まないこと
 - ▶ 保温性：靴の中を温かく保てること
- このほかにも、靴の重量やバランス・屈曲性・つま先の高さもポイントになります。



柔らかいゴムを使った靴底は、路面に対する密着力が強いため滑りにくくなっています。

足のサイズに合った靴を選びましょう！

サイズが小さい靴：足指が自由に動かしにくく、バランスを崩したときの踏ん張りが効かなくなる
サイズが大きな靴：歩行のたびに足が前後斜めに動いて、靴のつま先やかかとが足の動きに追従できなくなる

あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート

| チェック項目 | | <input checked="" type="checkbox"/> |
|--------|----------------------------------------------|-------------------------------------|
| 1 | 身の回りの整理・整頓を行っていますか 通路、階段、出口に物を放置していませんか | <input type="checkbox"/> |
| 2 | 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、 その都度取り除いていますか | <input type="checkbox"/> |
| 3 | 段差のある箇所や滑りやすい場所などに 注意を促す標識をつけていますか | <input type="checkbox"/> |
| 4 | 安全に移動できるように十分な明るさ（照度） が確保されていますか | <input type="checkbox"/> |
| 5 | ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい 場所の危険マップを作成し、周知していますか | <input type="checkbox"/> |
| 6 | 職場巡視を行い、通路、階段などの状況を チェックしていますか | <input type="checkbox"/> |
| 7 | 荷物を持ちすぎて足元が見えないことは ありませんか | <input type="checkbox"/> |
| 8 | ポケットに手を入れながら、人と話しながら、 携帯電話を使いながら歩いていませんか | <input type="checkbox"/> |
| 9 | 作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか | <input type="checkbox"/> |
| 10 | ストレッチ体操や転倒予防のための運動を 取り入れていますか | <input type="checkbox"/> |

チェックの結果はいかがでしたか？ 問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。

どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイディアを出し合いましょう！